



# 高松市給食費無償化！1月～3月



## 参加者の声に答弁する大西高松市長

給食費が無償であるのは当然なのであります。

「高松市の給食ひ無償化を求める署名」にも取り組んできました。

さらに、10月26日には、香教組OBで構成する「高松市の教育を考えるもと教師の会」が大西市長と直接懇談する「市町まちかどトーク」で

聞こえます。給食費をすべて無償にすれば、学校現場も市教委も煩雜な事務から解放されるのではないでしようか。

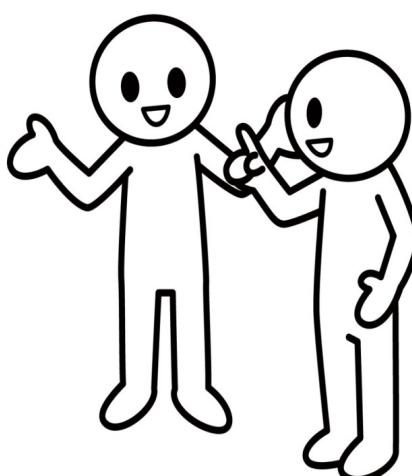
高騰が長期化する中、保護者の経済的な負担を軽減するため、高松市立小・中学校の児童生徒に提供する給与句碑を臨時の措置として支援（無償化）すると発表しました。

香教組高松支部は、長年「憲法26条 義務教育は、これを無償とする」ことや教職員の働き方改革などの面から給食の無償化について高松市

も、元教師はもちろん現役教師も飛び入り参加し、給食費無償化について強く訴えました。

坂出市は2022年4月から給食費無償化

坂出市は、子どもたちの健やかな成長を支えていく取り組みの一環として、2022年4月より市内の小学校の学校給食費を無償化しています。対象は、坂出市立小学校、香川大学教育学部附属小学校、香川大学教育学部附属中学校です。



丸亀市も給食費無償に！12月～3月

丸亀市は、2022年11月25日、物価の高騰などで負担が増している保護者を支援するために2022年12月から2023年3月まで小・中学校の給食費を無償化することに決め、補正予算を12月開会の定例市議会に提出すると発表しました。

赤旗より  
少しでも保護者の負担を減らそうと「半額補助」「第3子から無償」「中3のみ無償」など、一部無償の自治体がたくさんあります。「恒久的な制度として実施を」など、充実を求める運動も広がっています。臨時交付金による期間限定ではなく、国の責任による給食費無償化を求める声も全国で高まっています。

子どもにとつてかけがえのない大切な学校給食。学校給食法では、第11条 学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費のうち政令で定めるものは、義務教育諸学校の設置者の負担とする。第2項前項に規定する経費以外の学校給食に要する経費（以下「学校給食費」という。）は、学校給食を受ける児童又は生徒の学校教育法第十六条に規定する保護者の負担とする。とあり、これを理由に食材は保護者負担とされてきました。

しかし、近年、過疎化対策などから給食費を無償化する自治体が増えています。これまでには、小さな自治体が中心でしたが、青森市（人口27万人）山口県岩国市（同13万人）など、大きな自治体がすでに無償に。東京都葛飾区（同46万人）や千葉県市川市（同49万人）などは、来年から無償です。小・中学校とも給食費を無償化している自治体は256に広がっていることがわかりました。（しんぶん

▼「たまにはケガもありか」とつてきました。会議の後、薄暗くなつた校舎を回ろうと職員室を出たところで、「先生は1階を回つて！私は2階3階を回つてくるから！」と同僚が私の答えを聞く間も厳しく、颯爽と階段を駆け上ががつたが、とにかくました▼階段の昇降がつかつたのは事実でしたか？そしたら、本当に感謝しました▼そのとき、ふと、私は同僚の体調不良や困つていることにこいつに気がつくことができない風に気づくことができないだろうかと思ひました▼自分にかかる必死で、子供振り払うことに思ひだらうか▼子どもだけ見ていらん同僚のことなどを思ひだらうか

さりげない気遣い

不注意から右足の小指を骨折し、足の小指に注意になりました。普段、足の小指で歩いたり、荷物を運んでくれたりしました。3年生が「おんぶしようか? ううん。おれ、つぶされんない」とつぶやいてしまいました。普段は、笑っていけるかも知れんな」とつぶやきました。3年生が「おんぶしようか? ううん。おれ、つぶされんない」とつぶやいてしまいました。普段は、毎日冷やしてますが、この時ばかりは、子どもたちの笑顔がほほえましいです。このさりげない気遣いに心がほほえました。▼不謹慎にも、この時ばかりは、子どもたちの笑顔がほほえました。



